

2 県立病院事業概況

平成26年度の事業の概要は次のとおりである。

(1) 診療状況

平成26年度に県立病院で診療を行った患者数は、入院が延べ 73,890 人で前年度より 6,825 人(8.5 %)減少し、外来は延べ 94,459 人で前年度より 10,459 人(10.0 %)減少している。また、入院・外来共に、宮下病院で増加、矢吹病院・南会津病院で減少している。

なお、大野病院については、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により休止している。

次に、診療科別に見ると、入院では内科外5診療科で減少している。また、外来では小児科で増加し、内科外9診療科で減少している。

(2) 施設設備の整備

ア 耐震改修実施設計(宮下病院)、太陽光発電設備等整備工事(南会津病院)を行った。

イ デジタルX線画像診断装置(矢吹病院)、臨床検査システム(宮下病院)、全自動錠剤分包機(南会津病院)など医療機器等の購入整備を行った。

ウ 旧喜多方病院の解体工事、旧会津総合病院及び旧リハビリテーション飯坂温泉病院の解体設計を行った。

(3) 収支状況

平成26年度における総収益は 6,840,883 千円で、前年度と比較して 61,295 千円(0.9%)増加している。一方、総費用は 8,378,866 千円で、前年度と比較して 943,444 千円(12.7%)増加している。この結果、差引純損失は 1,537,983 千円となり、前年度と比較して 882,149 千円(134.5%)増加している。

また、医業収益の 2,803,754 千円から医業費用の 5,863,464 千円を差し引いた医業損益は △3,059,710 千円となり、損失額が前年度と比較して 276,657 千円(8.3 %)減少している。この結果、総収益対総費用比率は 81.6%、医業収益対医業費用比率は 47.8%となっている。

主な費用について見ると、給与費は 3,642,651 千円で前年度と比較して 336,694 千円(8.5%)減少したが、これは会津総合の廃止に伴う職員数の減などによるもので、医業収益に対する割合では 129.9%となり、前年度より 9.8 ポイント増加している。また、薬品費等の医療材料費については 463,014 千円で、会津総合の廃止などにより、前年度と比較して 167,610 千円(26.6%)減少しており、医業収益に対する割合も 16.5%と前年度より 2.5 ポイント減少している。

累積欠損金は、自己資本金の減資などを行ったことにより、前年度より 15,592,963 千円減少して 12,626,697 千円となり、医業収益に対する累積欠損金比率は 450.3%と前年度と比較して 401.5 ポイント減少している。なお、一般会計から負担金・補助金として繰り入れた額は、収益的収入 3,280,706 千円、資本的収入 588,738 千円で合計 3,869,444 千円となり、前年度と比較して 925,392 千円(19.3%)減少している。